

令和5年度学校評価アンケート結果について（横見小学校）

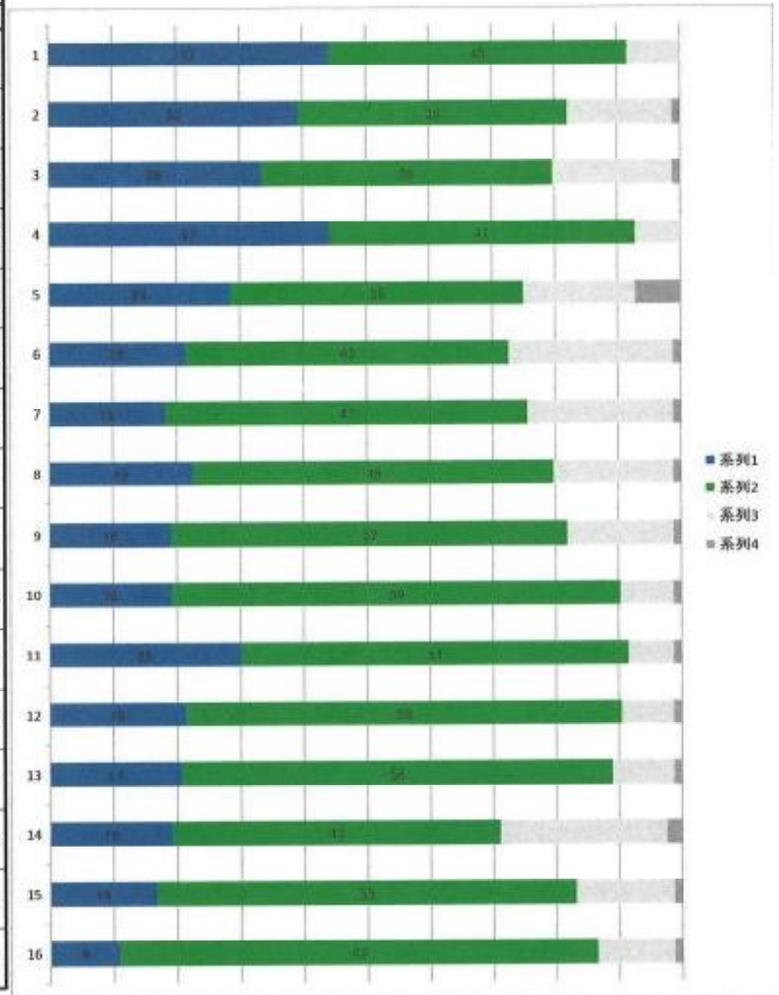
I アンケートの集計結果

◇**保護者**

回収率 90.3% (84/93)

〔1ーそう思う 2ー少しそう思う 3ーあまりそう思わない 4ーそう思わない〕

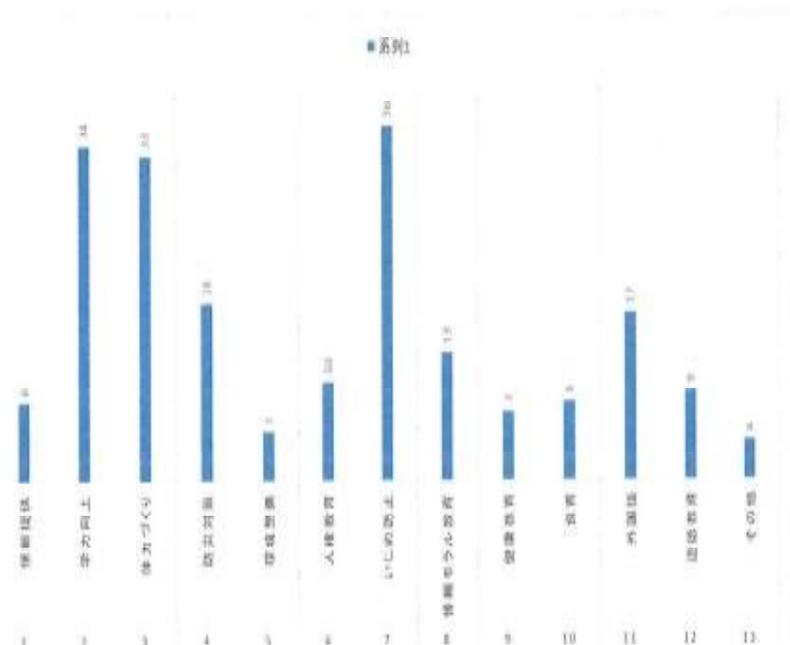
評価項目	全保護者				比較	
	1	2	3	4	R4	R5
1 子どもは、楽しく学校へ通っている。	37	40	7	0	95%	92%
2 子どもは「早ね・早おき・朝ごはん」ができています。	33	36	14	1	81%	82%
3 子どもは、自分から進んであいさつができています。	28	39	16	1	78%	80%
4 子どもは、友達と仲よくし、友達を大切にしている。	37	41	6	0	95%	93%
5 子どもは、家庭学習(宿題,自主勉強)の習慣が身に付いている。	24	39	15	6	79%	75%
6 子どもは、自分の思いや考えをきちんと伝えることができています。	18	43	22	1	78%	73%
7 学校は子どものよさを知り、そのよさを伸ばそうと支援している。	15	47	19	1	90%	76%
8 学校は、教育方針をわかりやすく伝え、家庭への連絡や情報提供を積極的にしている。	19	48	16	1	92%	80%
9 学校は、学力向上に向けて熱心に取り組んでいる。	16	52	14	1	91%	82%
10 学校は、体力づくりに積極的に取り組んでいる。	18	59	7	1	91%	90%
11 学校は、安全教育や防災教育に積極的に取り組んでいる。	25	51	6	1	95%	92%
12 学校は、子どもたちが安心して勉強や生活ができるように環境整備に努めている。	18	58	7	1	93%	90%
13 学校は、人権教育に積極的に取り組んでいる。	17	56	8	1	95%	89%
14 学校は、いじめのない学校づくりに積極的に取り組んでいる。	16	43	22	2	83%	71%
15 学校は、情報モラル教育に積極的に取り組んでいる。	14	55	13	1	87%	83%
16 学校は、ICTを活用した教育に積極的に取り組んでいる。	9	62	10	1	91%	87%



来年度特に力を入れてほしいこと

項目	割合
1 情報提供	8 4%
2 学力向上	34 17%
3 体力づくり	33 16%
4 防災対策	18 9%
5 環境整備	5 2%
6 人権教育	10 5%
7 いじめ防止	36 18%
8 情報モラル教育	13 6%
9 健康教育	7 3%
10 食育	8 4%
11 外国語	17 8%
12 道徳教育	9 4%
13 その他	4 2%
合計	202

その他(コンプライアンス・読む習慣づくり・子どもの意見を聞く・性教育)

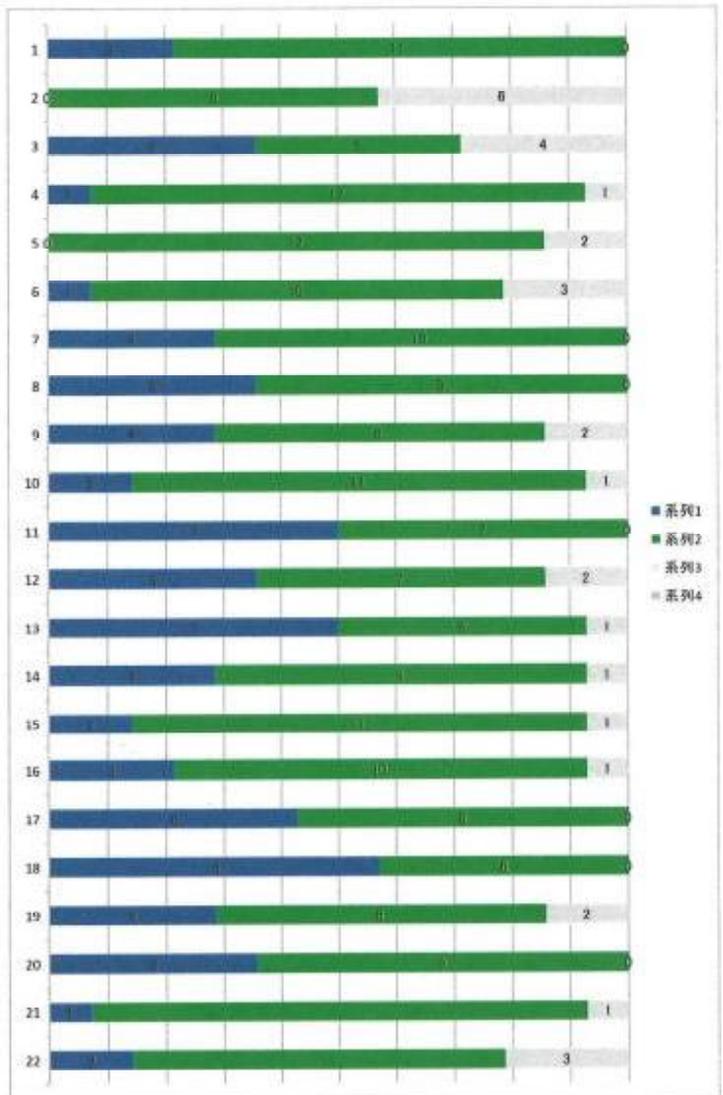


◆教職員

(1-そう思う 2-少しそう思う 3-あまりそう思わない 4-そう思わない)

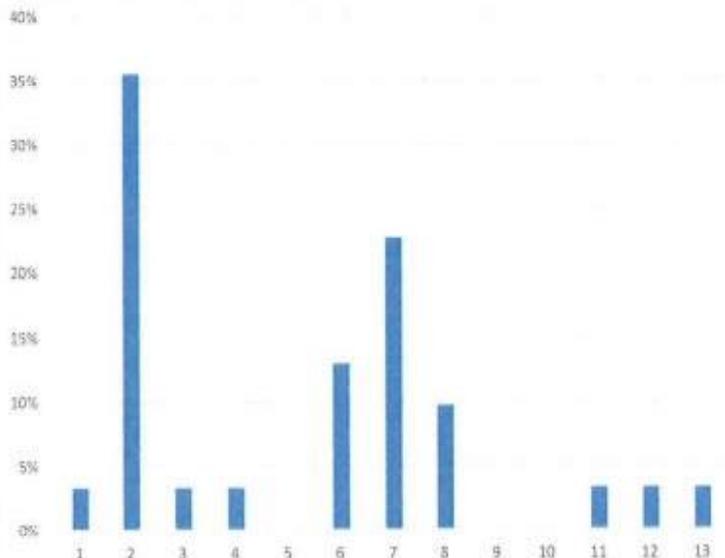
評価項目	教職員				比較	
	1	2	3	4	R4	R5
1 児童は、楽しく学校生活が送れている。	3	11	0	0	100%	100%
2 児童は「早ね・早おき・朝ごはん」ができてい	0	8	6	0	67%	57%
3 児童は、自分から進んであいさつができてい	5	5	4	0	73%	71%
4 児童は、友達と仲よくし、友道を大切にしてい	1	12	1	0	100%	93%
5 児童は、家庭学習(宿題、自主勉強等)の習慣	0	12	2	0	87%	86%
6 児童は、自分の思いや考えをきちんと伝える	1	10	3	0	87%	79%
7 学校は、子どものよさを知り、そのよさを伸ば	4	10	0	0	100%	
8 学校は、教育方針をわかりやすく伝え、家庭	5	9	0	0	100%	100%
9 学校は、学力向上に向けて熱心に取り組んで	4	8	2	0	87%	86%
10 学校は、体力づくりに積極的に取り組んでい	2	11	1	0	93%	93%
11 学校は、交通安全や防犯教育に積極的に取	7	7	0	0	100%	100%
12 学校は、子どもたちが安心して勉強や生活が	5	7	2	0	93%	86%
13 学校は、人権教育に積極的に取り組んでい	7	6	1	0	100%	93%
14 学校は、いじめのない学校づくりに積極的	4	9	1	0	100%	93%
15 学校は、情報モラル教育に積極的に取り組	2	11	1	0	100%	93%
16 学校は、ICTを活用した教育に積極的に取	3	10	1	0	100%	93%
17 「命と人権を大切にし、たくましく生きる児童	6	8	0	0	100%	100%
18 児童理解に努め、児童一人一人を大切にしてい	8	6	0	0	100%	100%
19 「報・連・相」を大切にし、情報共有に努めてい	4	8	2	0	80%	86%
20 教職員で協力し合い、風通しのよい職場づく	5	9	0	0	93%	100%
21 優先順位を付けて業務に取り組み、時間外在	1	12	1	0	80%	93%
22 情報教育によって指導環境が向上したと考	2	9	3	0		79%

集計数 14



来年度力を入れるべきこと

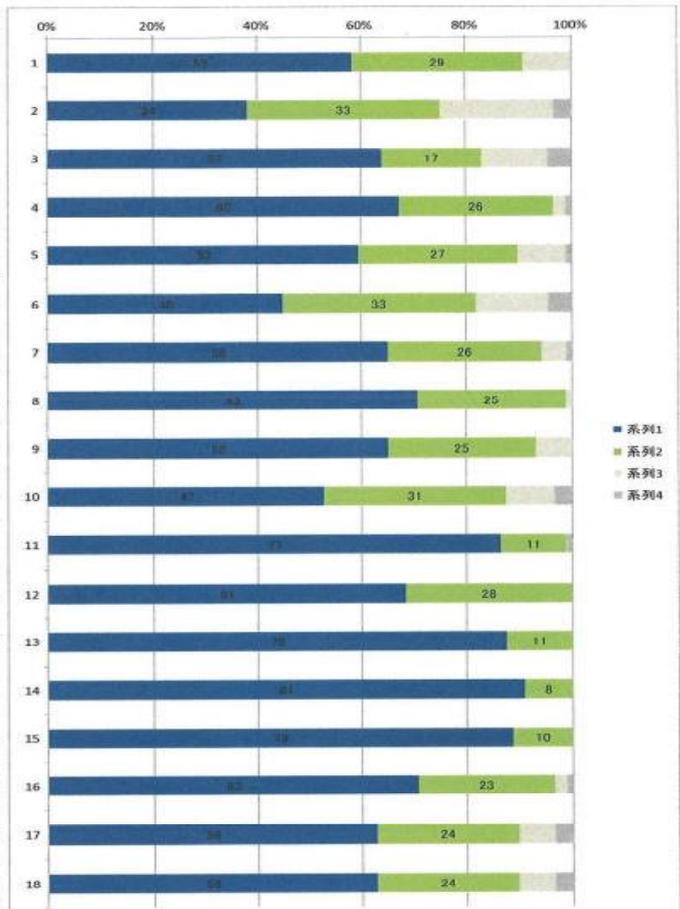
項目	割合	数
1 情報提供	3%	1
2 学力向上	35%	11
3 体力づくり	3%	1
4 防災対策	3%	1
5 環境整備	0%	0
6 人権教育	13%	4
7 いじめ防止	23%	7
8 情報モラル教育	10%	3
9 健康教育	0%	0
10 食育	0%	0
11 外国語	3%	1
12 道徳教育	3%	1
13 その他(図書館教育)	3%	1
合計		31



◇ 児童

(1-そう思う 2-少しそう思う 3-あまりそう思わない 4-そう思わない)

評価項目	全児童				比較	
	1	2	3	4	R4	R5
1 学校での生活は楽しい。	52	29	8	0	95%	91%
2 「早ね・早おき・朝ごはん」ができています。	34	33	19	3	77%	75%
3 自分から進んであいさつができています。	57	17	11	4	92%	83%
4 友達と仲よくし、友達を大切にしている。	60	26	2	1	96%	97%
5 家庭学習(宿題や自主勉強)ができています。	53	27	8	1	88%	90%
6 自分の思いや考えをきちんと伝えることができています。	40	33	12	4	87%	82%
7 先生は自分のよいところやがんばっていることをほめたり、はげましたりしてくれる。	58	26	4	1	96%	94%
8 先生から、学校や学級のめあてが伝えられている。	63	25	1	0	99%	99%
9 授業は、楽しく分かりやすい。	58	25	6	0	95%	93%
10 学校で運動する時間はじゅうぶんある。	47	31	8	3	91%	88%
11 先生は、交通安全や地震や火事、不審者から身を守る方法についてきちんと教えてくれる。	77	11	0	1	98%	99%
12 学校は、安心して勉強や生活ができるように環境を整えてくれている。	61	28	0	0	99%	100%
13 どんな理由があっても差別はいけなかったことや、相手の気持ちを考えながら行動することを学習した。	78	11	0	0	99%	100%
14 どんな理由があってもいじめはいけなかったことや、学習した。	81	8	0	0	99%	100%
15 携帯電話やスマホ、インターネットのルールを守るの大切だと学習した。	79	10	0	0	98%	100%
16 タブレットやデジタル教材などICTを活用した学習によって、授業がわかりやすくなった。	63	23	2	1	91%	97%
17 自分たちの住んでいる町(阿南市、横見町)がすきだ。	56	24	6	3	96%	90%
18 授業で学んだことをできるだけ生活の中で活用するようにしている。	56	24	6	3	90%	90%



項目		比較	
		R4	R5
1 子どもは、楽しく学校へ通っている。	保護者	95%	92%
	児童	95%	91%
2 子どもは、「早ね・早おき・朝ごはん」ができています。	保護者	81%	82%
	児童	77%	75%
3 子どもは、自分から進んであいさつができています。	保護者	78%	80%
	児童	92%	83%
4 子どもは、友達と仲よくし、友達を大切にしている。	保護者	95%	93%
	児童	96%	97%
5 子どもは、家庭学習(宿題,自主勉強)の習慣が身に付いている。	保護者	79%	75%
	児童	88%	90%
6 子どもは、自分の思いや考えをきちんと伝えることができています。	保護者	78%	73%
	児童	87%	82%
7 学校は子どものよさを知り、そのよさを伸ばそうと支援している。	保護者	90%	76%
	児童	96%	94%
8 学校は、教育方針をわかりやすく伝え、家庭への連絡や情報提供を積極的にしている。	保護者	92%	80%
	児童	99%	99%
9 学校は、学力向上に向けて熱心に取り組んでいる。	保護者	91%	82%
	児童	95%	93%
10 学校は、体力づくりに積極的に取り組んでいる。	保護者	91%	90%
	児童	91%	88%
11 学校は、安全教育や防災教育に積極的に取り組んでいる。	保護者	95%	92%
	児童	98%	99%
12 学校は、子どもたちが安心して勉強や生活ができるように環境整備に努めている。	保護者	93%	90%
	児童	99%	100%
13 学校は、人権教育に積極的に取り組んでいる。	保護者	95%	89%
	児童	99%	100%
14 学校は、いじめのない学校づくりに積極的に取り組んでいる。	保護者	83%	71%
	児童	99%	100%
15 学校は、情報モラル教育に積極的に取り組んでいる。	保護者	87%	83%
	児童	98%	100%
16 学校は、ICTを活用した教育に積極的に取り組んでいる。	保護者	91%	87%
	児童	91%	97%
17 自分たちの住んでいる町(阿南市、横見町)がすきだ。	保護者	96%	90%
	児童	96%	90%
18 授業で学んだことをできるだけ生活の中で活用するようにしている。	保護者	90%	90%
	児童	90%	90%

Ⅱ 考察と集計結果を踏まえての今後の取組について

◇児童の様子に関すること（1～6, 17, 18）

1「楽しい学校生活」、4「友達と仲よく」については、児童・保護者とも9割以上の肯定的な回答が得られているが、2「早ね・早おき・朝ごはん」、3「あいさつ」、6「自分の思いを伝える」については、保護者・児童ともに十分でないと感じていることが分かった。5「家庭学習」については、肯定的な回答が児童（90%）と保護者（75%）で差が見られた。今年度より追加された項目、18「学んだことを生活に活用」については9割以上肯定的な回答が見られた。

- ①学校全体で「早ね・早起き・朝ごはん」を呼びかけ、基本的な生活習慣が身に付くよう家庭と協力しながら継続した取組を行っていく。
- ②あいさつの心地よさを児童が実感できるような周りの大人から進んであいさつするとともに、児童のあいさつ運動（委員会活動等）を継続して行う。
- ③自分の思いや考えが伝えられるよう、朝の会での1分間スピーチや授業でペア学習やグループ学習を取り入れなど、児童が発表する機会を多くし、伝える力を育てていく。
- ④家庭学習の習慣が身に付くように、「家庭学習の手引き」を十分活用したり、自主勉強のやり方を伝えたりし、継続的に取り組めるよう声かけを行う。

◇教育活動に関すること（7～16）

児童の回答では16「ICTを活用し学習で授業が分かりやすくなった」で肯定的な回答が前年度より大きく増えている。デジタル教科書やタブレットを活用した学習が定着してきたことが大きいと考えられる。また、12「環境整備」については児童・保護者ともに9割以上肯定的な回答が見られました。保護者や地域の方にご協力いただき、校内美化に努めてきた成果だと考える。7「学校は子どものよさを伸ばそうと支援」、8「家庭連絡・情報提供」、9「学力向上」14「いじめのない学校づくり」（児童100%）、15「情報モラル教育」については、児童と保護者の回答に差が見られ、「十分でない」と感じている保護者が児童よりも多くいることが分かった。

- ①一人一人のよいところをしっかりと伸ばしていけるよう、担任と保護者が感じる子どもの「よさ」と「課題」を明確にし、目標や指導方針を伝えたり、話し合ったりすることで指導の手立てとしていく。また、子どもの思いや保護者の願いを知り、共通理解を図り連携を深めていく。
- ②学校の教育目標や教育活動等を機会あるごとに伝えるとともに学校だより、ホームページ等で発信する。また、保護者が安心できるように電話連絡や連絡帳を通じて児童の様子を丁寧に伝えていく。
- ③「いじめのない学校づくり」については、定期的なアンケート調査だけでなく、日々の児童の様子をしっかりと観察し、早期発見・早期対応に努める。また、道徳の授業や人権学習を通して、いじめや差別を許さない心や態度を育てていく。
- ④「情報モラル教育」については、今後も全ての学年で年間指導計画に位置付け、出前授業を行ったり、保護者と一緒に学べる機会を設けたりするとともに、継続的に指導していく。
- ⑤ 学力向上については、「読むこと」「書くこと」「計算」についても反復練習を取り入れ、基礎・基本の定着を図る。また、児童が楽しく学ぶことができるように、友達と関わりながら主体的に学習に取り組むことができる工夫等、今後も授業改善を行う。そのためには、学級経営、学習指導等、課題意識をもった校内研修の充実を図り、教職員のスキルアップを図っていく。

◇学校経営に関すること

17「命と人権を大切にする」児童の育成、18「児童理解」、20「風通しのよい職場環境」については、全職員から肯定的な回答が得られている。また21「時間外在校時間等の縮減」については昨年度より13ポイント上がり教職員の意識の高まりが感じられる。新設22「情報教育による指導環境の向上」は2割の否定的な回答があり、誰もがができるICTの活用に向けて取り組まなければならないと考える。

- ① どんな小さなことでも周りの職員に伝えるとともに、互いに声をかけ合う風土をつくっていく。困りごとや悩みごとはひとりでは抱え込まないよう常に声かけし、組織的な対応ができるよう共通理解を図る。
- ② ゲストティーチャーや学びサポーター、学校ボランティアなど、外部人材を積極的に活用し、教職員の負担を軽減する。
- ③ デジタル教科書やタブレット端末などICTについて、校内研修を設けたり、ICT支援員の来校日に質問事項をまとめ教えてもらったりし、ICTの活用促進を図っていく。また、常にOJTを意識し、互いに尋ね合いや教え合いができる環境づくりをする。